

ガスクロマトグラフ質量分析装置 【アジレント・テクノロジー株式会社、8890GC+5977B】

【設備の特徴】

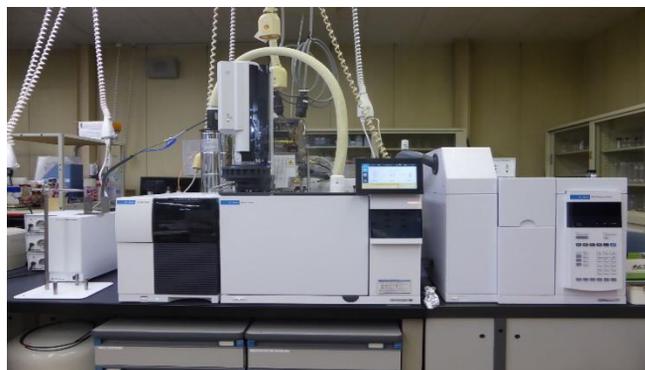
- ・アルコールやアセトンなどの溶媒、灯油などの液体、燃料ガスなどの気体に含まれる成分などの定性、定量が可能である。
- ・基板等の固体や粉末について、加熱した場合に、どのようなガスが放出されるかを見ることができる。

【設備の仕様概要、技術内容】

■特長的な機能

○一体型のタッチスクリーンとブラウザインターフェースにより装置のスマート診断やモニタリング、簡単な操作が可能。

○MassHunter の Review by Exception 機能と化合物クロマトグラムの一覧機能が、データ解析とレビューの簡素化および高速化を促進。



■仕様概要

パイロライザー部	温度範囲: 室温~1,500°C インターフェース温度: 40~450°C
質量分析部	質量範囲: 1.6~1050 amu イオン源温度: 150~350°C
ガスクロマトグラフ部	オートサンプラー、ヘッドスペース付属 インジェクション温度範囲: 40~450°C
制御・解析部	NISTライブラリー検索により、 測定データの定性分析が可能

■効果が期待される利用分野

【活用例】

- ・フタル酸エステルの分析
- ・基板等からの発生ガスによるトラブル解析
- ・溶剤等の成分分析

【適用製品の例】

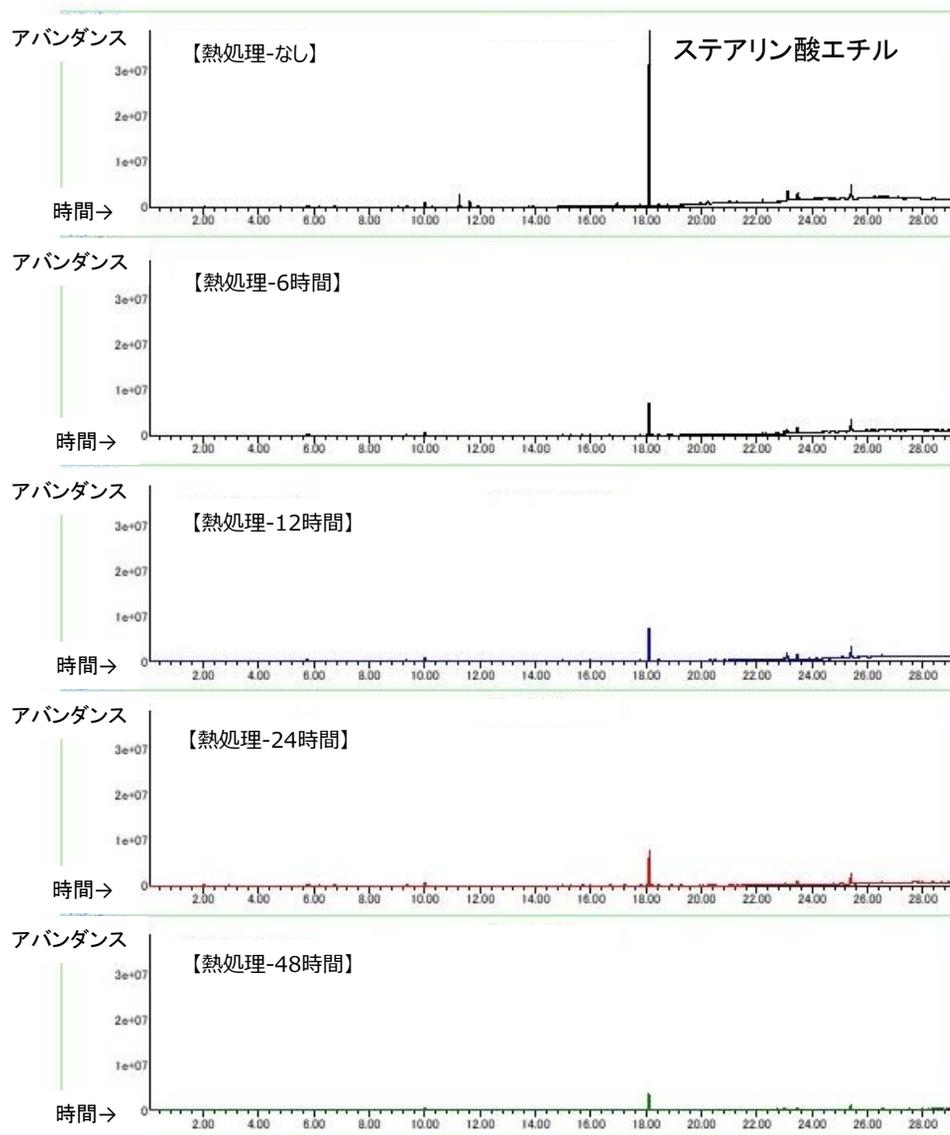
- ・有機系廃棄物のリサイクル
- ・溶剤等のリサイクル性能評価
- ・樹脂の同定解析

【応用事例】

■効果的な利活用の例

熱処理に伴う基板からの放出ガス成分の変化

基板を熱処理することによって、基板に含まれるステアリン酸エチルのピークがどの程度減少するか把握できる。



【設備の利用について】

試料をお送りいただく依頼試験にも対応しています。
詳細については当センターにご相談ください。

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

素形材開発部 新エネルギー・環境チーム 遠田幸生

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <https://www.aitc.pref.akita.jp/>